

2020年7月21日
みずほ総合研究所株式会社
株式会社みずほ銀行

みずほ総合研究所株式会社におけるお客さま情報の紛失について

今般、みずほ総合研究所株式会社（代表取締役社長：牛窪 恭彦、以下「みずほ総研」）におきまして、みずほ総研が保有する個人情報を含むお客さま情報を記録した記録媒体（Linear Tape-Open）を紛失していることが判明しました。

記録媒体に記録されている情報には、株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）との共同運営事業である MIZUHO Membership One に関する情報や、みずほ銀行等がみずほ総研へ委託している業務に関する情報も含まれております。

情報管理の重要性につきましては、従来から徹底を図ってまいりましたが、このような事態により、お客さまへご心配をおかけすることとなり、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

内部調査の結果、紛失した記録媒体につきましては、誤廃棄の可能性が高く、不正持出等の形跡は認められておりません。

また、記録媒体に記録されているお客さま情報を復元するためには、特殊な仕様のシステム環境を構築することが必要であり、したがって、第三者により情報を解読される可能性は低いものと考えております。

記録媒体に記録されていた情報は以下のとおりです。

- (1) 顧客管理システムのバックアップデータであり、お客さま情報（約 669 千件）ならびにお客さまのサービス利用実績に関する情報（約 1,838 千件）（※）となります。

（※）お客さま情報には、みずほ銀行との共同運営事業に関する法人情報（約 51 千件）とそれに付随する個人情報が含まれております。お客さまのサービス利用実績に関する情報にも、みずほ銀行等より委託されている相談サービス業務に関する情報（約 342 千件）が含まれております。

(2)2018年12月7日までにお取引をいただいていた情報が対象となります。

(3)記録媒体に含まれる具体的な情報は、お客さまの氏名・名称（企業名、代表者氏名、連絡窓口担当者氏名）、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）のほか、性別、年齢、売上データ、サービス利用実績（相談内容、委託内容）、取引部店、口座番号等が含まれる場合があります。

なお、これまでに、お客さまの情報が不正に使われたとの連絡や照会、また、みずほ総研ならびにみずほ銀行に対する不正要求等、外部への情報漏えいが疑われるような事象は生じておりません。

みずほ総研ならびにみずほ銀行といたしましては、今回の事態を真摯に受け止め、早急に再発防止策をとりまとめ、今後、お客さま情報の管理について再徹底してまいります。

本件に関するお客さま専用のお問い合わせ窓口は以下のとおりです。

みずほ総研	フリーダイヤル	：	0120-856-660
みずほ銀行	フリーダイヤル	：	0120-512-557
受付期間	：7月21日（火）から8月20日（木）		
受付時間	：午前9時から午後6時まで		

以 上